

防災サバイバルインフォメーション めいわ

2026/WTR

災害時の避難生活①

◎避難生活＝避難所に行くことではありません

避難所は、住居の浸水や倒壊などにより、住み続けられなくなった方が、一定期間生活を行うための場所で、多くの避難者で混雑し、不便な生活となることが想定されます。

災害時であっても、住居や地域の自主避難所など、できるだけ普段の生活拠点に近い環境を確保することが健康やコミュニティ維持に望ましいと言えます。また、場合によっては車中泊などを行うこともあり得ますが、定期的に水分補給や運動を行うなど、エコノミークラス症候群予防を心がけましょう。

※津波や河川氾濫から命を守る「緊急避難」は必ず全員が行いましょう。結果として住居・地域が無事だった場合には、各住居や地域の自主避難所で生活することが想定されます。

◎耐震化と家具固定が最重要

災害時、避難所で生活しなくてもよいためには、まず住居の耐震化と家具固定が必要です。家が倒壊せず、生活環境を守ることができれば、物資等の支援を受けながら、家庭や地域で生活を続けることが可能です。命を守り、避難生活を守るため、すぐにでも家具固定を行うとともに、できるだけ早期の住宅耐震化を進めましょう。条件によっては、補助事業等の対象となる場合がありますので、生活環境課（52-7117）までお問い合わせください。

災害時の避難生活②

◎避難所外で避難生活をする場合、お近くの避難所にお知らせください

災害時は、避難者の情報を収集し、物資等の不足をいち早く把握することが大切です。避難所以外の場所で避難生活を送る方は、町で直接把握できませんので、お近くの指定避難所まで避難者の情報をお知らせください。世帯や地域で、どなたかが代表してお越しいただいても結構です。

災害時の避難生活③

◎避難生活に必要なものを備蓄しておきましょう

大規模災害では、1週間程度は物資等の支援が届かないこともあります。緊急避難時に持ち出す「非常持ち出し品」とは別に、家庭や職場、自動車などに、一定期間生活するのに必要な物資として「備蓄品」を準備しておきましょう。また、年末年始の機会に、ご家族で備蓄品や災害時の連絡先について話し合ってみましょう。

【例】

- | | |
|---------------------------------------|----------------|
| ・飲料水、給水袋、食料、食材 | ・簡易（携帯）トイレ |
| ・毛布や寝袋、防寒着 | ・蓄電池やバッテリー、充電器 |
| ・カセットコンロなどの調理器具、割り箸や使い捨て容器 | |
| ・ティッシュ、ウェットティッシュ、トイレトーパー、歯磨きセットなど衛生用品 | |

明和町民の皆様、突然ですが、
あなたの力を貸してください！
明和町消防団員募集中

明和町消防団では、令和8年度新入団員を募集しています。

消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神のもと、地域防災の担い手として災害から人命・財産を守ってきた歴史ある有償ボランティア活動です。

消防署の職員とは異なり、普段は別の仕事に就きながら、いざというときには地域のために活動するもので、消火活動だけでなく、非常時の各種災害対応や普段からの火災予防啓発、地域の皆さんへの訓練指導も行っています。

団員には条例で定められた年額の報酬が支給されるほか、活動状況に応じた報酬もあります。活動にご興味のある方は、地域の消防団員又は役場防災安全課（52-7110）までお声がけください！

明和町総合防災訓練2025 を実施しました

今年の明和町総合防災訓練は、「見る」「体験する」「食べる」をキーワードに、災害時の生活体験や防災に興味を持っていただくきっかけの提供を目指し、様々な展示や体験訓練、防災クイズなどの実施を予定していましたが、残念ながら雨天のため、グラウンドでの訓練はすべて中止となりました。

しかし、炊き出し訓練と体育館での避難所運営訓練は開催し、地域住民やボランティアの方々など、約100名にご参加いただきました。避難所運営体験では、避難所の開設や受付の体験をしていただき、現在行っている避難所運営マニュアルの見直しに役立てていただいています。

来年度は、令和8年11月29日（日）に開催予定です。会場や詳細は改めてお知らせしますので、ぜひご参加ください。